

2013年11月21日
日興アイ・アール株式会社

日興アイ・アール、2013年度 全上場企業ホームページ充実度ランキングを発表

- 総合ランキングでソフトバンク株式会社が V2、新興市場ランキングでフィールズ株式会社が V4 達成 -

日興アイ・アール株式会社(以下、日興アイ・アール)は、「分かりやすさ」「使いやすさ」「情報の多さ」の3つの視点で設定した148の客観的な評価項目に基づき、全上場企業3,556社のホームページについて調査を行い、「2013年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」を発表致しました。

本年度における全上場企業総合ランキングではソフトバンク株式会社(東証1部)が2年連続1位、新興市場ランキングではフィールズ株式会社(JASDAQ)が4年連続で1位となりました。

このホームページ充実度ランキングは、全上場企業のホームページにおける情報開示の充実度調査と、企業の情報開示に対する意識醸成の促進を目的としており、2003年度に開始して以来、毎年発表を続けており、今年度で11回目となります。

また、調査するホームページの評価項目は、日興アイ・アールが独自の視点で設定し、毎年見直しを行っており、このランキング結果は、株式会社日本経済新聞デジタルメディアの「NEEDS-Cges」(コーポレート・ガバナンス評価システム)の「情報開示・ウェブの充実度」項目における指標判断の一つに採用されています。

2013年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング 総合ランキング ベスト5

順位	前回 順位	企業名	総合 ポイント
1	(1)	(9984)ソフトバンク(株)	92.8
2	(2)	(6502)(株)東芝	91.6
2	(5)	(9697)(株)カプコン	91.6
4	(3)	(9433)KDDI(株)	89.1
5	(4)	(6762)TDK(株)	88.9

「2013年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査結果」につきましては、日興アイ・アールホームページ <http://www.nikkoir.co.jp/> に掲載しております。

2013 年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査結果について

- ・ソフトバンク株式会社が総合ランキングで 2 年連続 1 位、新興市場ランキングではフィールズ株式会社が 4 年連続 1 位となりました。また、総合ランキングの上位企業(トップ 5)は、順位に変動があったものの、昨年と同じになりました(ソフトバンク株式会社、株式会社東芝、株式会社カプコン、KDDI 株式会社、TDK 株式会社)。
- ・評価視点別では、「分かりやすさ」トップにソフトバンク株式会社と株式会社東芝と KDDI 株式会社の 3 社、「使いやすさ」トップに株式会社カプコン、「情報の多さ」トップにソフトバンク株式会社がランクインしました。
- ・カテゴリ別ページの設置状況を見ると、コーポレートガバナンス専用ページを設けている企業が全上場企業のうち、33.7%(昨年度:30.8%)、個人投資家向け専用ページ・コンテンツを設けている企業が 17.7%(昨年度:15.8%)、経営戦略専用ページを設けている企業が 24.6%(昨年度:23.8%)と昨年と比べて増加しております。CSR・環境対応専用ページ・コンテンツを掲載する企業は 54.9%(昨年度:55.0%)と一昨年以降、ほぼ横ばいになっております。
- ・IR 情報の掲載状況については、有価証券報告書 70.6%(昨年度:67.6%)、CSR レポート 23.9%(昨年度:22.8%)、コーポレートガバナンス報告書 27.4%(昨年度:24.8%)などの IR 資料開示率が昨年と引き続き上昇しています。決算関連情報では、決算説明会のプレゼンテーション資料 53.5%(昨年度:52.4%)、決算説明会の動画配信 13.6%(昨年度:13.4%)、決算説明会の質疑応答 5.2%(昨年度:4.5%)となりました。
- ・個人投資家に配慮したホームページを作成している企業は、全ての視点別において評価が高い傾向があり、総合評価においても上位にランクインしています。上位企業の多くは、個人投資家向けに自社の特徴・強みや、ビジネスモデルのポイント、株主になるメリットなどを分かりやすくまとめた専用コンテンツを用意するとともに、個人投資家向けの IR イベントの情報を提供するなど、投資判断に必要な詳細情報を整理して提供しており、個人投資家の様々なニーズに対応する姿勢が見られます。
- ・コーポレートガバナンスおよび CSR に関する評価項目の評点ポイントが高い企業においても、同様に総合ランキングにおいても上位にランクインする傾向が見られます。専用ページを用意し、各ステークホルダーとの関係などを明記する企業や、年間活動の目標設定・結果報告などを詳細に掲載する企業が引き続き多く、コーポレートガバナンス・CSR への意識の高さがうかがわれます。なお、今回より新たに調査を開始した「独立社外取締役の選任条件や選任理由」を掲載している企業は、2.9%でした。
- ・前回より調査を開始したスマートフォン対応サイト関連については、対応サイトを開設している企業が 7.7%(昨年度:3.6%)と、前回調査より着実に増加しており、今後もこの流れは続くものと考えられます。また、今回より「スマートフォン対応の IR サイト」と「スマートフォン・タブレット端末向けの IR 専用アプリ」について調査を開始しましたが、それぞれ 2.6%、0.2%とまだ少数でした。
- ・今回より新たに日本語版のオンラインアニュアルレポートについて調査を開始しました。モバイル端末の普及や WEB 技術の進歩を背景にして導入が始まりつつあり、オンラインアニュアルレポートを掲載している企業は 1.6%でした。

全上場企業ホームページ充実度ランキング調査概要

(1) コンセプト

企業ホームページについて、株主、投資家、消費者、取引企業、就職希望者など、企業のステークホルダーが情報を取得し、状況を把握するための要素をどの程度備えているかを調査しました。

(2) 対象企業

全上場企業 3,556 社

(2013年6月末時点での上場企業とREIT。但し、2013年9月末時点で上場廃止となった企業および東証外国株市場上場企業を除く)

(3) 調査対象

対象企業のコーポレートサイト(商用サイトを除く)

(4) 調査期間

2013年7月～2013年9月

(上記期間内でのリニューアル・内容更新が行われた場合、リニューアル・内容更新前の状態で評価している可能性があります。)

(5) 評価項目

今年度は、148の評価項目に基づき調査を行いました。評価項目は、「分かりやすさ」31項目、「使いやすさ」31項目、「情報の多さ」86項目とし、レイアウト・デザイン・文体等の主観的内容は評価の対象外としました。

今後、環境の変化を踏まえ、適宜、評価項目の見直しを行います。

(6) 評価方法

対象企業のホームページごとに各評価項目の有無を調査し、該当項目をカウントしました。その該当項目数と全体の平均該当項目数で算出した偏差値を各評価項目の評点ポイントとしました。3つの評価項目の評点ポイントを平均したものを総合ポイントとし、総合ランキングを作成しました。

ポイントの目安は、偏差値50超が平均より上、50が平均、50未満が平均未満となります。

1. 総合ランキング ベスト 20 (同ポイントの場合は銘柄コード順に掲載)

順位	前回 順位	企業名	総合 ポイント	分かりやすさ	使いやすさ	情報の多さ
1	(1)	(9984)ソフトバンク(株)	92.8	90.5	96.2	91.6
2	(2)	(6502)(株)東芝	91.6	90.5	94.1	90.3
2	(5)	(9697)(株)カプコン	91.6	86.7	98.4	89.6
4	(3)	(9433)KDDI(株)	89.1	90.5	92.0	84.8
5	(4)	(6762)TDK(株)	88.9	88.6	94.1	84.1
6	(7)	(9437)(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ	87.8	86.7	87.7	88.9
7	(9)	(9432)日本電信電話(株)	86.9	86.7	89.8	84.1
8	(6)	(2767)フィールズ(株)	86.1	82.9	92.0	83.4
9	(10)	(9783)(株)ベネッセホールディングス	85.7	86.7	89.8	80.7
10	(21)	(8729)ソニーフィナンシャルホールディングス(株)	85.0	79.1	87.7	88.2
11	(14)	(4503)アステラス製薬(株)	84.6	82.9	83.4	87.5
12	(173)	(3738)(株)ティーガイア	84.3	82.9	89.8	80.0
13	(12)	(7011)三菱重工業(株)	83.6	81.0	87.7	82.1
14	(11)	(6701)日本電気(株)	83.3	81.0	83.4	85.5
15	(38)	(8306)(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	82.6	75.3	87.7	84.8
15	(27)	(8566)リコーリース(株)	82.6	79.1	92.0	76.6
17	(28)	(8766)東京海上ホールディングス(株)	82.3	81.0	79.2	86.9
18	(141)	(8725)MS&AD インシュアランスグループホールディングス(株)	82.0	79.1	83.4	83.4
19	(16)	(5020)JXホールディングス(株)	81.8	79.1	85.6	80.7
20	(8)	(5741)古河スカイ(株)	81.7	82.9	85.6	76.6

・各評価項目中、一番高い評点をハイライトしています。

2. 業種別ランキング トップ企業

業種	(銘柄コード) 企業名	総合ポイント	分かりやすさ	使いやすさ	情報の多さ
情報・通信業	(9984)ソフトバンク(株)	92.8	90.5	96.2	91.6
電気機器	(6502)(株)東芝	91.6	90.5	94.1	90.3
卸売業	(2767)フィールズ(株)	86.1	82.9	92.0	83.4
サービス業	(9783)(株)ベネッセホールディングス	85.7	86.7	89.8	80.7
保険業	(8729)ソニーフィナンシャルホールディングス(株)	85.0	79.1	87.7	88.2
医薬品	(4503)アステラス製薬(株)	84.6	82.9	83.4	87.5
機械	(7011)三菱重工業(株)	83.6	81.0	87.7	82.1
銀行業	(8306)(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	82.6	75.3	87.7	84.8
その他金融業	(8566)リコーリース(株)	82.6	79.1	92.0	76.6
石油・石炭製品	(5020)JXホールディングス(株)	81.8	79.1	85.6	80.7
非鉄金属	(5741)古河スカイ(株)	81.7	82.9	85.6	76.6
精密機器	(7732)(株)トプコン	81.6	77.2	87.7	80.0
証券・商品先物取引業	(8604)野村ホールディングス(株)	80.8	79.1	77.0	86.2
輸送用機器	(7270)富士重工業(株)	79.8	77.2	83.4	78.6
化学	(4901)富士フイルムホールディングス(株)	79.6	75.3	81.3	82.1
REIT	(8968)福岡リート投資法人	79.3	84.8	81.3	71.8
電気・ガス業	(9531)東京瓦斯(株)	78.9	73.4	79.2	84.1
その他製品	(7966)リンテック(株)	78.3	73.4	85.6	75.9
水産・農林業	(1332)日本水産(株)	78.2	81.0	77.0	76.6
食料品	(2503)キリンホールディングス(株)	77.4	77.2	79.2	75.9
不動産業	(8815)東急不動産(株)	77.2	79.1	79.2	73.2
建設業	(1982)日比谷総合設備(株)	76.6	75.3	79.2	75.2
小売業	(9983)(株)ファーストリテイリング	76.1	73.4	72.8	82.1
鉱業	(1605)国際石油開発帝石(株)	75.0	73.4	77.0	74.5
ガラス・土石製品	(5202)日本板硝子(株)	75.0	71.5	74.9	78.6
繊維製品	(3402)東レ(株)	74.1	71.5	72.8	78.0
鉄鋼	(5456)朝日工業(株)	73.9	73.4	79.2	69.1
海運業	(9101)日本郵船(株)	73.1	71.5	66.4	81.4
陸運業	(9005)東京急行電鉄(株)	71.2	73.4	66.4	73.9
ゴム製品	(5101)横浜ゴム(株)	69.3	75.3	66.4	66.3
金属製品	(5938)(株)LIXILグループ	69.1	73.4	60.0	73.9
空運業	(9202)ANAホールディングス(株)	68.7	69.6	60.0	76.6
倉庫・運輸関連業	(9066)(株)日新	62.3	64.0	62.1	60.9
パルプ・紙	(3880)大王製紙(株)	61.5	67.8	60.0	56.8

・業種分類は東証 33 業種と REIT となります。

3. 新興市場ランキング ベスト5

順位	前回 順位	(銘柄コード) 企業名	総合ポイント	分かりやすさ	使いやすさ	情報の多さ
1	(1)	(2767)フィールズ(株)	86.1	82.9	92.0	83.4
2	(2)	(9438)(株)エムティーアイ	78.2	82.9	79.2	72.5
3	(10)	(2163)(株)アルトナー	76.6	77.2	87.7	65.0
4	(3)	(5456)朝日工業(株)	73.9	73.4	79.2	69.1
5	(12)	(4751)(株)サイバーエージェント	72.5	71.5	77.0	69.1

・新興市場は東証マザーズ、JASDAQ、札証アンビシャス、名証セントレックス、福証 Q-Board となります。

この調査は当記載内容を目的として実施しており、投資勧誘を目的としたものではありません。また、各企業のホームページは本調査期間以降に変更されている場合があります。最新の情報については、各自ご確認をお願い致します。本調査内容の全ての部分に関する一切の権利は日興アイ・アール(株)に属します。

内容に関するお問合せ先:

日興アイ・アール株式会社 コンサルティング営業部

濱田 03-3660-2156 hamada@nikkoir.co.jp

安田 03-3660-1093 yasuda@nikkoir.co.jp

==== 日興アイ・アール『ホームページ関連サービス』のご案内 =====

1. 『ホームページ比較診断レポート』の提供について

今回の調査結果を踏まえた『ホームページ比較診断レポート』を、上場企業向けに有償にて提供致します。このレポートを購入いただくと、全上場企業における貴社ホームページの客観的な順位が把握できるとともに、今後のホームページリニューアルのための改善点を効率よく把握することができます。

詳細および申し込みは、日興アイ・アールホームページ <http://www.nikkoir.co.jp/> でご覧下さい。

レポートの構成は以下の内容です。

- ・貴社ホームページの評価結果
(全上場企業における貴社の総合・業種別ランキング結果および各視点別得点など)
- ・約 110 のホームページ評価項目における他社との比較診断
(ご希望の上場会社 5 社を選択することができます。)
- ・上記のホームページ評価調査における評価項目実施状況
(時価総額別、業種別、市場別の評価項目実施率など)
- ・上場企業全体におけるホームページの動向
(情報の掲載状況分析、市場別傾向分析、業種別傾向分析など)

2. 『表彰ロゴ』の提供について

今回の調査結果における、ランキング上位企業に、企業ホームページ等に掲載可能な「表彰ロゴ」(英語版も可能)を有償にて提供致します。詳細および申し込みは、日興アイ・アールホームページ <http://www.nikkoir.co.jp/> をご覧下さい。

表彰項目	ポイントまたは順位	表彰ロゴ	
総合ランキング	総合ポイント 70 以上	最優秀サイト(総合ランキング)	
	総合ポイント 65 以上 70 未満	優秀サイト(総合ランキング)	
	総合ポイント 60 以上 65 未満	優良サイト(総合ランキング)	
業種別ランキング	1 位	最優秀サイト(業種別ランキング)	
	2~5 位	優秀サイト(業種別ランキング)	
新興市場ランキング	1~20 位	最優秀サイト(新興市場ランキング)	
	21 位~50 位	優秀サイト(新興市場ランキング)	
	51 位~100 位	優良サイト(新興市場ランキング)	

3. 『ホームページ改善サービス』-IR サイト制作支援

今回の調査結果を踏まえて、上場企業向けにコンサルティングからサイト制作までをご提供する「ホームページ改善サービス」を実施しています。詳細は日興アイ・アールまでご連絡下さい。